

とうえい



大ききく
りつぱに育てー！

“友情の木”70本植樹

碧南市の沢渡公園で
小学校 海洋学校のお礼に
代表者ら

東栄町と碧南市との友情は、山の学校、海の学校として五年前から続けられ、同市では、毎年わが町が開設している「緑の学校」を小学校児童の健康づくりの一環として利用し、たいへん喜ばれております。そして、こんどはお礼という事で一昨年夏から町内の子どもたちが衣浦港や臨海工業地帯の見学や、同市が自慢するマンモスプールでの水泳学校に招待されるなど、両市町は深いつながりをもっていたのです。

去る二月二十四日、町内の小学校代表ら二十名がマイクロバスに乗り込み、苗木七十本を持って碧南市を訪れ、昨年夏の海洋学校のお礼に、と同市に贈り、この日さっそくみんなの手で沢渡公園の真ん中の「東栄の森」と名付けられたところに、ハナの木、ドウダントツツジ、ケヤキ、ミズキなどを大きく育て、一本一本ていねいに植えました。

こうして、碧南市との「友情の森」はきれいに作られ、いつまでも絶えることなく、もつともつと友情の輪を広めよう！と誓い合ったのです。

ことしもきつと山の施設「緑の学校」と海の施設「海洋学校」は多くのこどもたちでにぎわうことでしょう。

4月号

人口と世帯	
3月1日現在	
()内は前年比	
人 口	6,915人(-170)
男	3,297人(-65)
女	3,618人(-105)
世帯数	1,841戸(-13)

国保新予算

保険料大幅引き上げ

医療費 受診件数 の増高などでやむなく

三月定例議会において、一般会計と同時に審議された各特別会計の新予算も、それぞれ原案どおり可決されました。このうち、国保事業会計では、医療費の上昇等なとあつて運営上やむなく予算措置で保険料の引き上げを決めました。そこで、みなさんにご理解いただくため、国保新年度予算編成のあらましを次のとおり説明します。

給付費が 九十三割占める

国民健康保険の新年度予算の総額は一億九千八百八十二万六千円となり、前年度より三千二百九十六万二千円(二十・七五割)増額となりました。これは、受診件数(医者にかかる数)の増加、医療費(医者にかかる費用)の増高によるものが原因であります。

国保の被保険者は、一月現在三千六百二十一人で、人口六千九百二十四人に対し五十二・二割であります。歳出の面から見ますと一億九千八百八十二万六千円の総額に対して、療養給付費は一億七千七百四十八万五千円と九十二・五割を占める状況で、被保険者一人当たりになりますと五万七千七百円となります。国保の予算を財政面からみますと、三十一・三割が保険料、国保の補助金六十一・四割、残りの七・三割が町の一般会計の支出金、その他となっております。



被保険者の受診回数も年々増加：

医療費が伸びる原因としては、受診件数の増加もその一つと言えます。最近八カ月の例をみますと全体では被保険者一人が三・五回受診したことになります。四十九年度中では同じく年五・二回となっています。次には、老人医療費無料化による国保負担分の増加、

高額療養費負担の増大があげられます。

こうした費用額の増大は国保財政面に大きく負担増として現われることは必至であります。したがって、新年度予算は過去の実績を基にした受診件数および医療費の伸び率に新聞紙上等でご案内の医療単価約十割の上昇を加えて予算措置がされたものです。

保険料引き上げの理由

医療費の上昇は東栄町のみでなく、どの市町村の例を見ても保険料の増額につながります。これは国保の財政が保険料と国・県の補助金によってまかなわれていることをお考えいただければご理解願えるものと思えます。

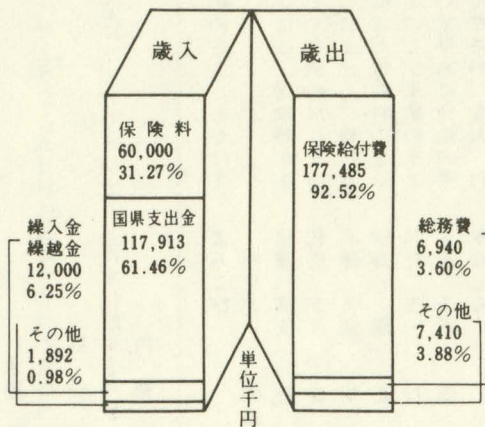
町としては当初被保険者一人年額一万九千四百三十円程度の保険料を考えていましたが、一般会計より一千二百万円の繰出しをすることにより、前年度対比四十四割増の六千万円を計上しました。一人当たり年額一万七千二百七十円

となりませんが、医療費一人年額五万七千円に比較しますと約三分の一となりります。

以上、国保予算編成の概要につ

いて説明しましたが、国保事業の特殊性とその財政面について一層のご理解をいただくとともに、健全な運営について格別のご協力をお願いいたします。

国民健康保険特別会計 予算額 191,826千円



町議会議員の 村本嘉夫氏死去

東栄町議会議員の村本嘉夫氏(大字三輪字畑畔)が、去る三月六日ご他界になりました。

村本氏は、昭和四十六年四月に当選以来、厚生委員として福祉の増進に熱意を傾け、また、造林委員としてご尽力いただき、さらに五十年四月に行われた町議改選において再選され、経済建設委員、病院委員として今後一層のご活躍を願えるものと存念じておりましたのに惜しみてあまりあるものがあります。

謹んで哀悼の意を表します。

ふるさと歌会指導者 宮下 茂氏死去

ふるさと歌会のよき指導者としてご尽力いただいていた宮下茂氏(佐久間町浦川)が、去る三月五日にご他界になりました。

宮下氏は、昭和三十七年に東栄町を中心に発足した歌会を、十三年余にわたり暖かいまなざしと熱意をもって今日までつらばに育てていただき、東栄町の文化の発展に貢献されてさらに今後一層のご指導を願えるものと存念じておりましたのに惜しみてあまりあるものがあります。

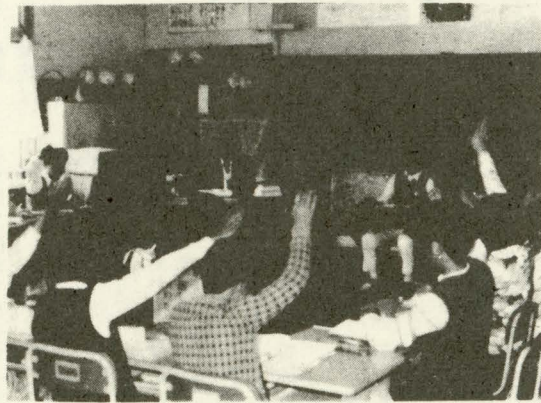
謹んで哀悼の意を表します。

古戸小に「辺地教育功労賞」

「ハート記念財団」から 児童らの自主的活動が実る

全国の辺地教育功労者（または団体）と老人福祉功労者などを毎年表彰し、人間の疎外を防ぎ、文化の発展、社会福祉の増進に寄与することを使命として、昭和四十七年三月に発足した「ハート記念財団」がありますが、このほど、昭和五十年の辺地教育功労賞に町立古戸小学校（丸山吉郎校長、四学級五十人）が受賞の栄に輝きました。

同校では、昭和四十八年度から二年間、北設楽郡内教育事務協議会から特別活動（生活環境づくり）の研究指定を受け、へき地のメ



児童が中心となって模範的な活動が続けられる

リット（長所）である個別化、デメリット（欠点）である集団化の両面に着目し、豊かな自主性、社

会性、人間性に富んだ児童を育成するために特別活動を通してこの問題に取り組んできました。

このようなことから今回の受賞の対象となったわけで、複式の小規模ながら児童たちの自主的な話し合い（児童会、学級会、クラブ会）が活発になり、郡内の小学校ではモデル的な児童会となり、

県教育委員会も同校を高く評価しハート記念財団に推せんしたところ、全国十六校中の一校（愛知県下では一校）に選ばれたのです。

古戸小学校では、これを機に全職員共通理解のもと一致協力して研究を続け、一層の教育効果の向上を図ろうと意欲的に取り組んでいます。

湯浅氏に永年勤続功労章 五十年定例表彰 消防庁長官から授与

消防庁の昭和五十年定例表彰式が、去る三月四日、午前十時から東京虎の門の日本消防会館ホールにおいて、関係者多数が参加して盛大に開催されました。

その席上において、本年度永年消防業務に勤められた東栄町消防団長湯浅敏介氏に対し、消防庁長官から永年勤続功労章が贈られました。

湯浅氏は、昭和四十五年四月から団長として現在に至り、また、四十八年四月から郡の消防団連合会長として活躍され、温厚誠実で意志が強く実行力があり、地区住民の信望は厚く良き指導者・相談役でもあります。

今後とも、町消防団の組織の強化・充実などに、より一層のご活躍を期待してやまないものです。

おともたちの作品

「なわとび」

中央小 六年

伊藤 昌明

二月の初めごろ、学校ではなわとびの進級表をつくってくれた。二十級から一級までずらりと種目が見えていくと五級から二重とびがあった。ぼくは、「いくら合格しても六級までだな」と思った。ぼくはそのころ二重とびがなかなかできなくて、よくできて、四回ぐら

いだったからそう思ったのもむりはないだろう。

予想どおり六級まではすいすいと合格した。だが五級の二重とび十回という種目が厚いかべになってしまった。ぼくは考えた。なぜできないのか。どこが悪いのか考

えに考えて、ほかの人にも自分とんでいるところを見てもらってやっとなんか悪いかがわかった。とんでいる時にだんだん手がひらくことと、左の手首がよく回らないということだ。それからは、学校でも家でも練習を積み重ねた。

人さし指にまめがででき、そのまめがつぶれても練習を続けた。そして、練習を初めてから二週間目

やっとなんか合格した。みんなに「よかったな。」

と言われた時は、なみだがでそうであつたらなかつた。それからは、四級、三級と順調に合格していった。

ぼくはこんどのことで、練習と気持ちいいでなんでできるんだなと思つた。ぼくは、これから中学にいつてつらいこと悲しいことがあつても、なわとびのことを思いだして、努力すればなんでもできるんだと心にいっきかせてがんばりたいと思う。

三業種の最低賃金決定

五十一年三月二十八日から実施

- このほど、食料品、製造業等三業種の最低賃金が決定され、それぞれ昭和五十一年三月二十八日から実施されました。
- ◎愛知県食料品製造業最低賃金
 - 一日一、二、二五六円
 - 一時間一 二八二円
- ◎愛知県繊維産業最低賃金
 - 一日一、二、一九〇円
 - 一時間一 二七三円七五銭
- ◎愛知県卸売業、小売業最低賃金（飲食店を除く）
 - 一日一、二、三三〇円
 - 一時間一 二九〇円

総農家数 949戸

5年間に12%減

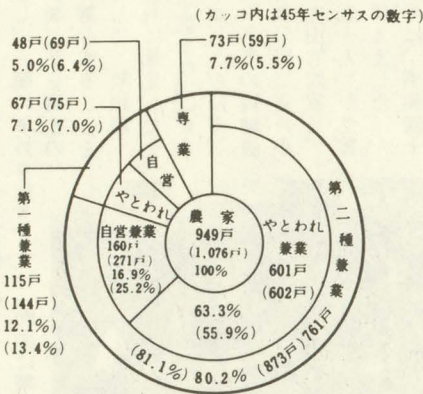
農業センサス結果

依然続く労働力の老齢化

昭和五十年二月一日現在の農家数は九四九戸で、四十五年農林業センサス（以下「四十五年」という）に比較すると二二七戸減少しました。減少率は十一・八割で、四十五年の十一・一割とはほぼ同じです。農家数が減る傾向は全国的なこと、愛知県でも平均九・一

昭和五十年二月一日現在でもって、すべての農家（経営耕地面積五アール以上か、農産物の総販売額七万円以上の世帯）を対象にして、一九七五年農業センサスが実施されたことはみなさんご承知のところ、その後、国の段階でこの調査集計（機械集計）がすすめられていたが、このほど結果がまとまり発表されました。そこで、これを参考にするとともに前回（四十五年）センサスの比較などにより、東栄町の農業についてその推移と実態を検討してみました。なお、この調査の結果については毎号連載してご紹介していく考えですが、今月号ではまず農家数とその人口についてお知らせします。

専・兼業別農家数



次に、経営耕地規模からみた農家数は、一ha未満の農家が九十九・五割を占め、一ha以上の農家は〇・五割にすぎません。また、農家でいちばん多い経営耕地面積規模は〇・一ha〜〇・三haで三六一戸であります。

九割を占める 兼業農家

農家数の内訳を専業・兼業別にみると、図に示したとおりですが、専業農家については四十年十・七割、四十五年五・五割で、五十年は七三戸で全農家数の七・七割にあたり、前回よりやや増えました。が全体ではわずかなものであります。しかし、ここでいう専業農家は収入は仕送りなどで他に依存しながらも、一家の者が農業だけに従事している農家も含まれているため、もっぱら農業だけで生計をたてている農家は、実質的には四分の一以下（二〇戸以下）であるとみなされます。

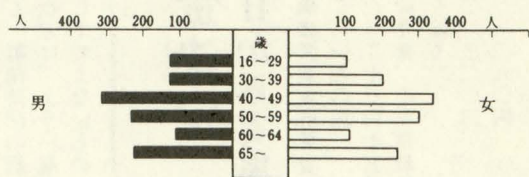
一方、兼業農家は実戸数においては減少しているものの、総農家数に占める比率は四十年八十九・三割、四十五年九十四・四割、五十年九十二・三割と、最近では九割以上が兼業となっております。

農家にも 核家族化の波

さらに、兼業農家の実態を数値で見ると、第一種兼業（農業を主とする農家）十二・一割、第二種兼業農家（農業を従とする農家）八十・二割と、いずれも実戸数、構成比とも減少しています。このように、率からいって前回より減少しているものの、本町ではやはり兼業に頼らざるを得ません。また、その主因は、最近の小規模農家における農業依存性の低下と他産業の進展により、新しい業種への就労の機会が増加したことが考えられます。

本町の農家人口は三、九八八人で、この五年間に一、〇二七人も減少しました。これを農家一戸当たりになると四・二人で四十五年より〇・五人減り、農家についても核家族化が進んできています。ここで、十六歳以上の労働人口は、男女あわせて三、一九三人と農家人口に対し八十割と多くを占めているものの、逆に十六歳未満が四十年の三十五割、四十五年の二十七割に対しわずか二十割と調査ごとに減少していくことは、このままの推移が続く限り、将来の町の農業にちよっと気がかりな点です。

年齢別就業人口



女別では、男三三八人、女九四一人と女の数が男の約三倍を占めています。しかし、最近の動きとして、進出企業の影響もあって主婦などの他産業への転業が目立ち、女子の減少度合もかなり高まっています。これをさらに年齢別にみると、男の場合、調査前一年間に百五十日以上農業に従事した人は、六十歳以上で八十五人いるのに対し、十六歳〜二十九歳の青少年層ではたったと三人という結果になっています。以上のように、本町の農家および人口の調査結果をみたとき、農家数ならびに農家人口の減少がそのまま農業就業人口の減少に結びつき、農業の担い手は中心となるべき年齢層で急速に減る一方、高齢者への依存度が高まっています。男

全国表彰惜しくも逸す

朝日農業賞—東栄農協 内容審査員から高評価

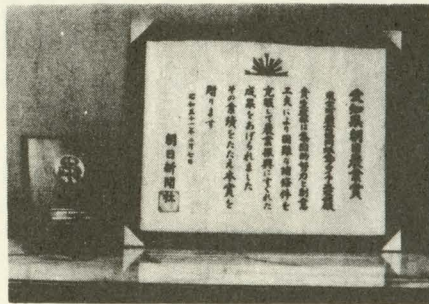
東栄町農協プロイラー生産部(部員三十四名)が、昭和五十年朝日農業賞候補となり、県代表に選ばれたことはすでに報告のとおりですが、このほど、愛知県朝日農業賞授与式が県庁で行われ、組合長と森下幸夫部長が出席いたしました。

その後、全国審査へすすみ最終審査対象の十四集団の一つとして残りましたが、惜しくも受賞を逸しました。しかし、その活動は、

国民年金保険料が 今月から1,400円(1ヵ月)

現在、一ヵ月一、一〇〇〇円となっている国民年金の保険料は、四月からは三〇〇〇円上がつて一ヵ月一、四〇〇円となります。この改定は五万円年金の実現や物価スライド制の採用が取り入れられた時

このほど贈られた賞状と楯



審査員から次のように評価されたので、地域産業の大きな柱として、今後一層内容充実につとめていきたいと思えます。
東栄町農協のプロイラー生産

に決められたもので、加入者の負担が重くなるのをさけて上げ幅をこきぎみにし、段階的に引き上げることとされています。
みなさんもお承知のように、老年年金などの年金額は四十九年分の支払いから物価にスライドして大幅に増額され、今日では四割以上の額が加算されています。年金は物価や生活水準の上昇にもかかわらず目減りしないで実質価値を保ち、生活に役立てることができ

の集団活動について、調査報告書と現地調査報告を合せて審議を行った結果全国表彰に至らなかったが、この活動には多くのすぐれた点があり高い評価が与えられた。
(中略)

農協活動としてのプロイラー事業は実にすばらしいが、生産者たる農家の集団的活動としては特にみるべきものがなく、農協主導型という感じはまぬがれない。生産者相互間の活動に積極性と創意性がほしい。この点だけが問題点であった。しかし、これも大きい欠陥とはいえず、表彰するに値するものと判断したが、他に優秀な集団があることから、残念ながら五十年度は見送らざるを得なかった。今後一段と強化された集団活動の内容をもつて再立候補されるよう期待する」(原文抜す)

なればなりません。そのため、保険料も上げる必要があるわけですね。
いま、保険料を納めている人たちもやがては年金を受けることになるでしょう。みんな加入者の負担に助けられながら老後の生活が守られていくのです。これからは若い人がお互いに協力して、おとしよりを助け合っていく気持ちが必要であると考えられています。この先も保険料は引き上げられることになっており、加入者の協力なくしては制度の発展はありません。四月から保険料が一、四〇〇円になります。お互いに決められ

ふるさと歌壇 宮下 茂選

〈二月詠草歌〉第一六八回

入学の祝に貰ひし古靴兄の形見と今も使へり
村井道弘
わが道は山の手入れの外になしあふるる朝陽うけて鎌振る
原田芳子
寒明けて家陰に残る雪もとけ落葉の下を静かに流るる
鈴川三重
からからと姑の姿はそのままにわが著に触れぬお骨となりて
福田幸代
幾つかの不安をはらみ裏山に開かれんとする公社への道
伊藤静
はてしなき苦難の過去をしのぶ通夜たたかいつかれし幸うす
仁津美恵
き友
天の底がぬけたようなと五日目に猶降りつづく雪につぶやく
村松満寿乃
コバルトの空にくっきりそびえ立ちうす化粧する今朝の明神
内藤すへ

た期日までに納めるよう心がけてください。

加入者のなかには、保険料が上がつて納めたくても納められない人もあるかもしれません。特に生活が苦しい人には、保険料の免除制度がありますので、未納のまま放っておかないで早めに免除の手続きを取ってください。なお、付加保険料はこれまでどおり一ヵ月四〇〇円と据え置かれています。

戸籍の窓口

〈二月受付分〉

出生児	保護者	住所
伊藤 高宏	智洋	奈根
和田 文彦	富夫	三輪
高津 久栄	明博	下田
伊藤 龍	正臣	〃
関野 圭一	行男	〃
大原 千草	国男	〃
かなしみ		
氏名年齢	世帯主	住所
富川小太郎75	やすの	本郷
青山 ヤエ76	百之	〃
初沢 謙一80	善啓	〃
鈴田シズエ74	久次	振草
中野 こう77	安治	三輪
		下田